



# 美しい 県土づくりNEWS

## 目次

- 2 台風第 10 号による被害状況
- 14 滝ダムの洪水調節効果が災害からの被害低減の役割を果たしました
- 15 国土交通大臣へ早期復旧への支援を要望しました

2016 年

9 月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 146 号  
平成 28 年 9 月 30 日発行  
編集 県土整備企画室



希望郷

希望郷

いわて国体  
いわて大会

いわて国体は 10/1 から、いわて大会は 10/22 から開催されます

## 台風第 10 号による災害発生から 1 か月 早期復旧に向けて取組を進めています

8 月 30 日、県内に甚大な被害をもたらした台風第 10 号による災害発生から 1 か月が経過しました。現在、県、国、市町村等が一丸となって、災害からの早期復旧に取り組んでいるところです。

今号では、調査により明らかになってきた、災害による被害状況等についてお知らせします。



応急復旧状況 (9/12)

小本川の氾濫で大きく損壊した一般国道 455 号二升石の 2 と応急復旧の状況

# 台風第 10 号による被害状況

台風第 10 号は、8 月 30 日午後 6 時前頃、岩手県大船渡市付近に上陸しました。

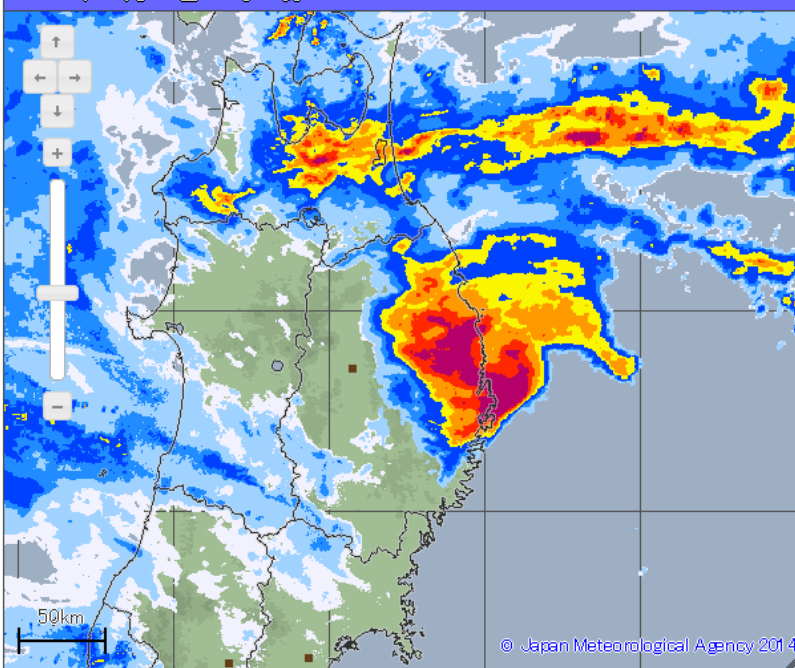
台風が東北の太平洋側に上陸するのは、昭和 26 年の統計開始以来、初めての出来事であり、この台風上陸による大雨、暴風、波浪により、東日本大震災津波からの復興の途中でもあった沿岸部を中心に、甚大な被害が発生しました。

被害の状況は、9 月 30 日午前 10 時現在で、死者 20 名、行方不明者 3 名、住家被害（全壊 379 棟、半壊 2,120 棟、一部損壊 509 棟、床上浸水 147 棟、床下浸水 890 棟）、被害総額は 1,400 億円を越え、大雨被害としては過去最大の被害となりました。

## 《土木施設等の被害状況（9 月 16 日時点：砂防災害課調べ）》

| 管理別   | 施設別 | 被害箇所数 | 被害額            | 被害路線等（代表箇所）         |
|-------|-----|-------|----------------|---------------------|
| 県管理   | 河川  | 305   | 147 億 6,805 万円 | 小本川、安家川、小烏瀬川ほか      |
|       | 海岸  | 1     | 1,000 万円       | 石浜海岸                |
|       | 砂防  | 1     | 1,000 万円       | 馬淵川                 |
|       | 道路  | 552   | 341 億 2,032 万円 | 国道 106 号、国道 340 号ほか |
|       | 橋梁  | 21    | 5 億 9,240 万円   | 国道 106 号、国道 340 号ほか |
|       | 港湾  | 5     | 1 億 8,500 万円   | 久慈港、宮古港ほか           |
|       | 公園  | 5     | 1,620 万円       | 遠野市                 |
| 小計    |     | 890   | 497 億 197 万円   |                     |
| 市町村管理 | 河川  | 667   | 148 億 2,583 万円 | 小本川（岩泉町）、山口川（遠野市）ほか |
|       | 道路  | 1,059 | 171 億 5,648 万円 | 市道川又橋場線（久慈市）ほか      |
|       | 橋梁  | 146   | 49 億 1,770 万円  | 町道中家線（岩泉町）ほか        |
|       | 下水道 | 5     | 8 億 7,000 万円   | 宮古市、久慈市、岩泉町         |
|       | 公園  | 1     | 1 億 9,600 万円   | 久慈市                 |
| 小計    |     | 1,878 | 379 億 6,601 万円 |                     |
| 合計    |     | 2,768 | 876 億 6,798 万円 |                     |

2016年08月30日17時30分



←台風 10 号により三陸沿岸に集中した降雨

（気象庁高解像度降水ナウキャスト

8 月 30 日 17:30 時点）

次ページからは、

- ・災害による道路、河川の被害状況
  - ・滝ダムの洪水調整効果による被害低減効果
  - ・国土交通省への要望実施状況
- についてご紹介します

# 一般国道106号の被災状況

①夏屋1号橋背面道路流出



②片巣ロケット'宮古側土砂路流出



③坂本橋付近土砂流出



④古田地区道路陥没及び土砂流出



⑤巖岩トンネル孤立車両



⑥墓目地区道路流出



⑦墓目跨線橋付近道路陥没



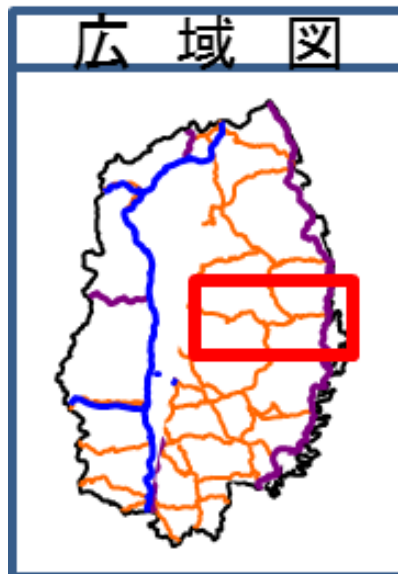
⑧花原市地区道路流出



⑨花原市地区道路流出



## 広域図



## 撮影日時

- ① 8/31 7:30
- ② 8/30 18:00
- ③ 8/31 10:30
- ④ 8/31 6:30
- ⑤ 8/31 6:00
- ⑥ 8/31 8:30
- ⑦ 8/31 14:30
- ⑧ 8/31 7:00
- ⑨ 8/31 8:30

# 一般国道455号及び主要地方道宮古岩泉線の被災状況

①乙茂地区(盛岡市側から)



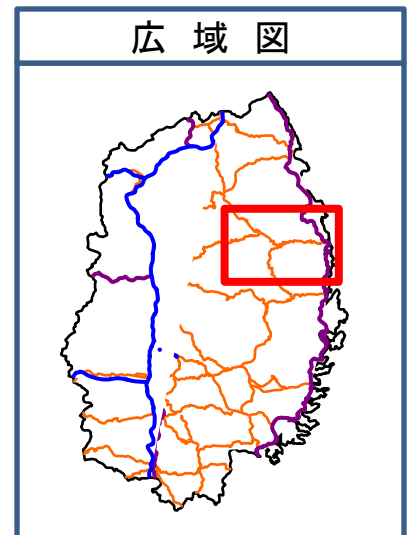
①乙茂地区(宮古市側から)



②二升石の2地区



③乙茂橋背面



# 一般県道普代小屋瀬線被災状況

①川口地区道路流出



②川口地区道路流出



③水渡地区1道路流出



④水渡地区2道路流出



⑤松ヶ沢地区道路流出



⑥ロッキーパー付近の被災状況



⑦ロッキーパー付近の被災状況



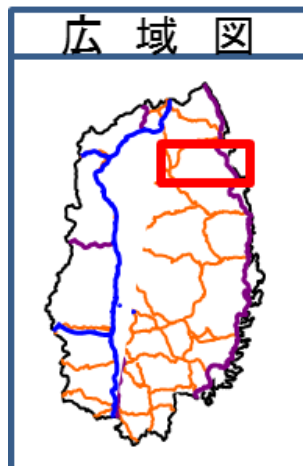
⑧松ヶ沢地区道路流出



⑨大平地区道路流出



⑩冬期通行止ゲート付近道路流出

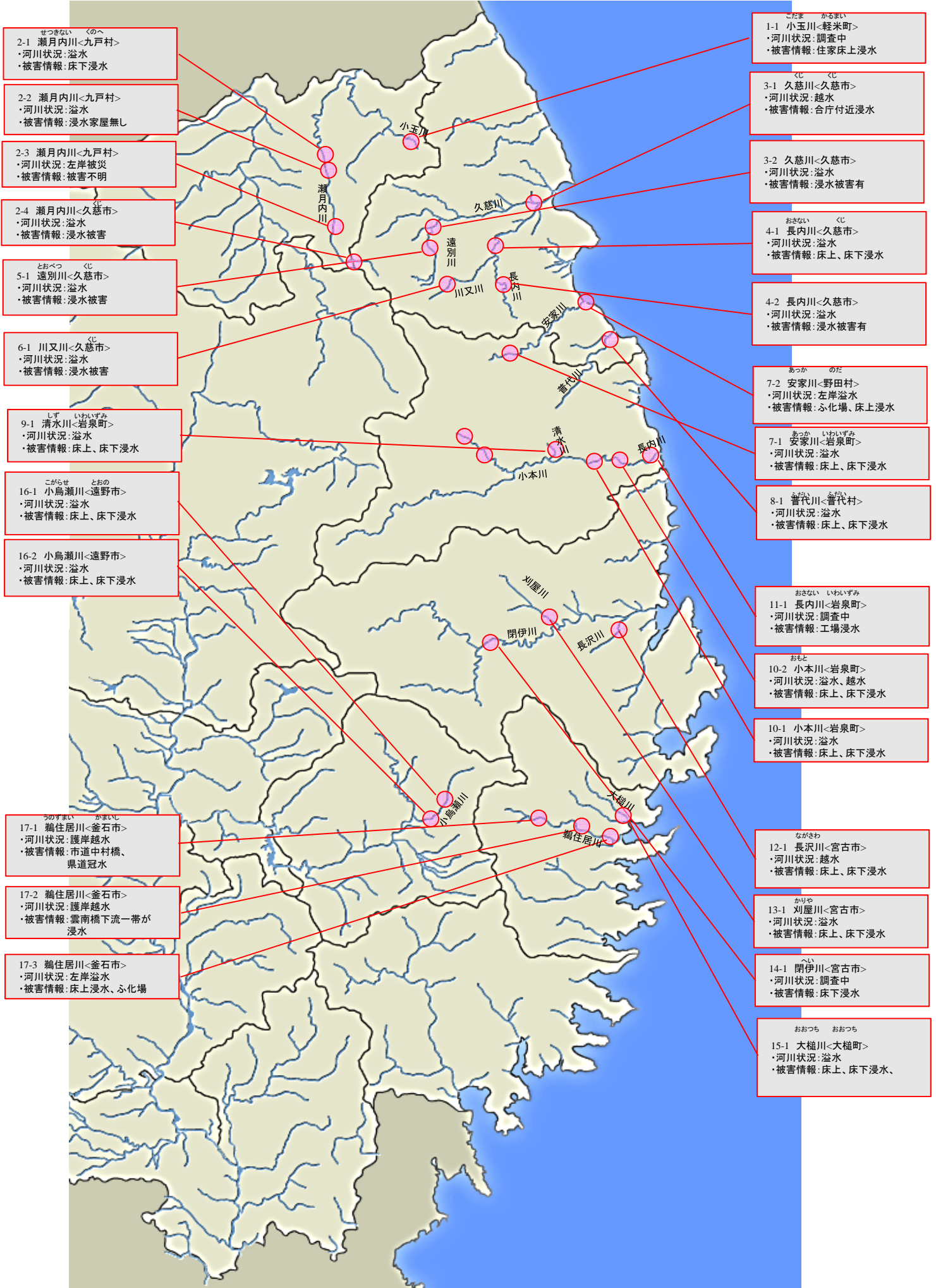


撮影日時

- ①②9/3 14:00
- ③④9/4 11:00
- ⑤⑥9/5 11:00
- ⑦⑧9/5 11:30
- ⑨9/5 12:30
- ⑩9/3 12:00

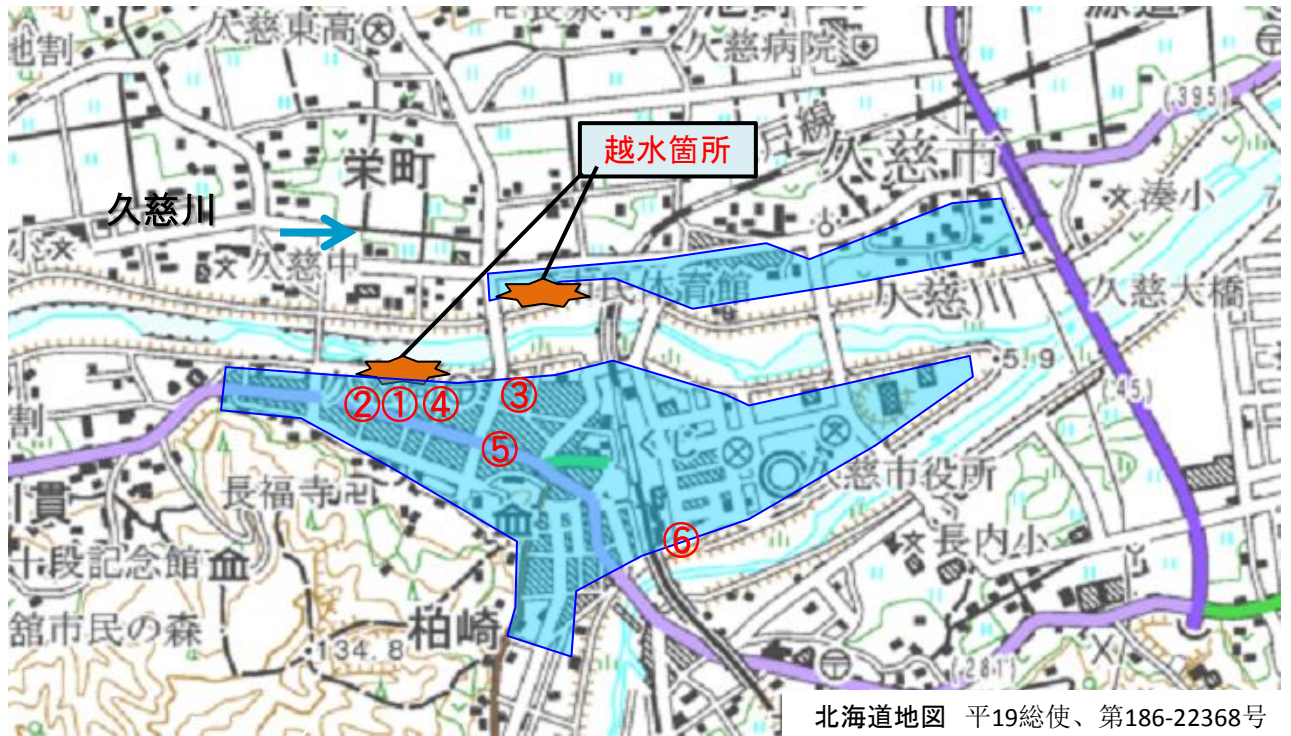
# H28.8.30 台風10号 岩手県河川被害状況

H28.9.27 10時現在 ※河川課調べ



# 久慈川水系久慈川 (久慈市八日町地先)

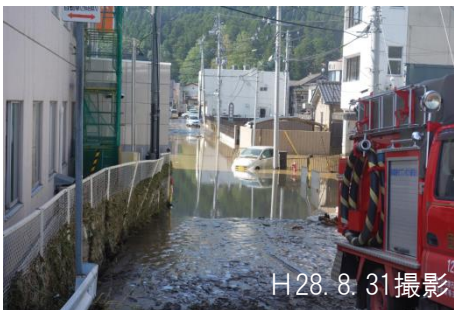
- ◆被災状況については調査中
- ◆被災原因:内水(沢や雨水)、川からの越水(浸水は8/31解消済) ◆応急復旧の有無等:有(排水ポンプ稼動)  
(※越水とは、堤防を越えた洪水をいう)



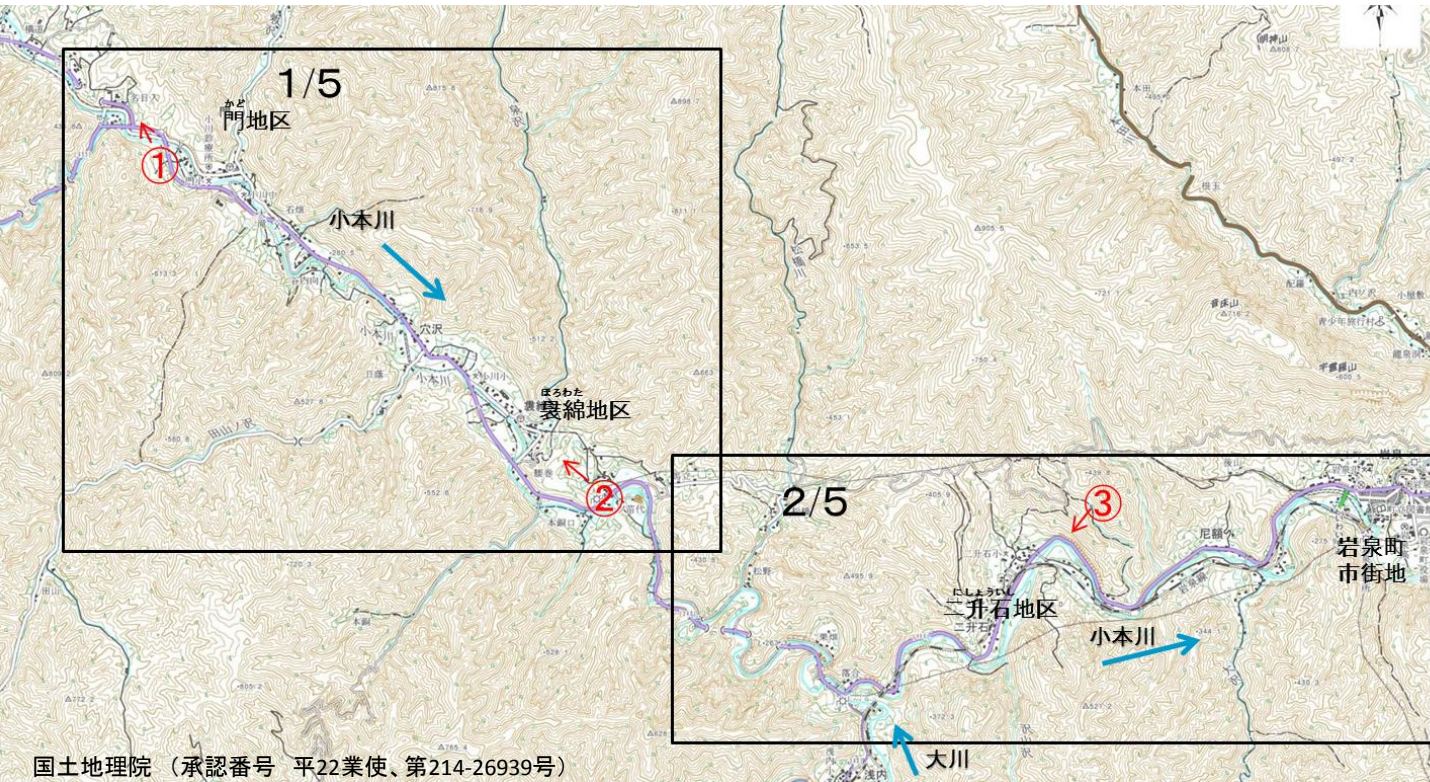
- ① 久慈川(右岸)越水状況
- ② 河川水低下状況(合同庁舎より)
- ③ 床上浸水被害状況



- ④ 浸水の交通への影響状況
- ⑤ 汚泥堆積状況
- ⑥ 応急復旧対応:排水ポンプ(国交省保有)稼動による対応実施状況



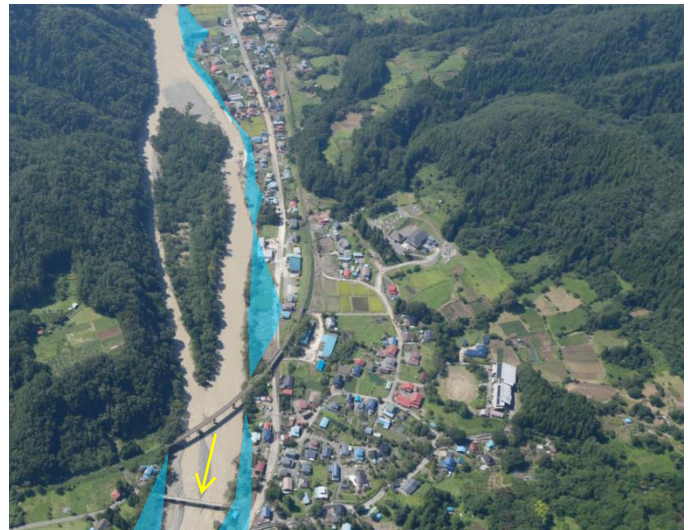
# 小本川水系小本川 (岩泉町門～岩泉地先)



国土地理院 (承認番号 平22業使、第214-26939号)

①

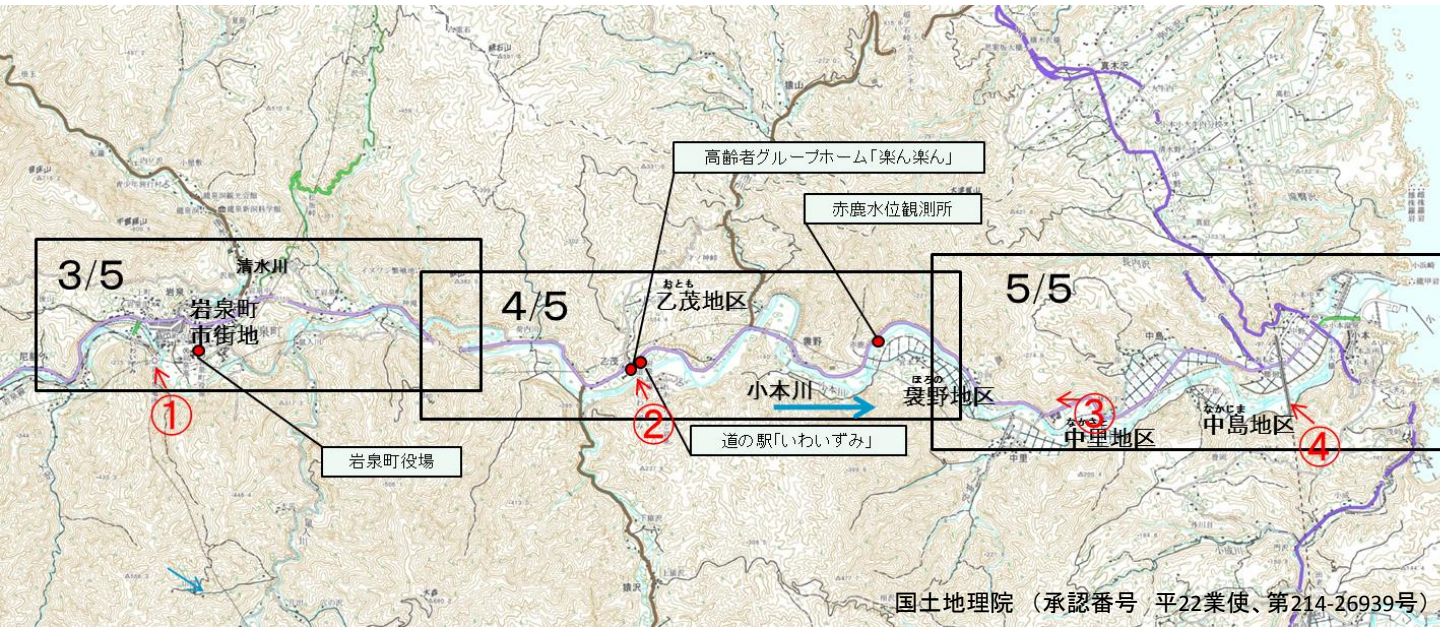
③



②





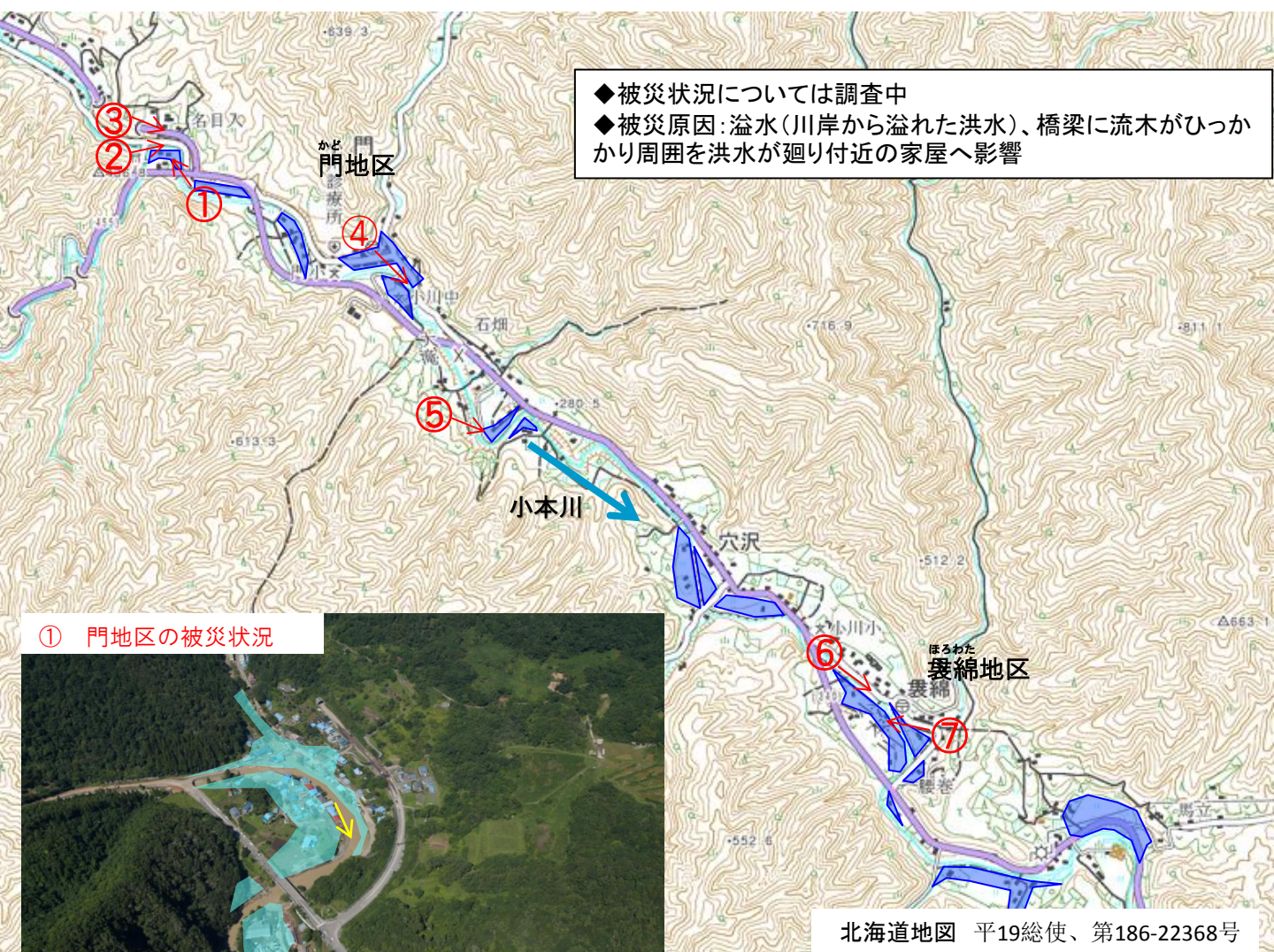


◆被災状況については調査中

◆被災原因: 溢水(川岸から溢れた洪水)、越水(堤防を越えた洪水)、決壊(川岸の壊れ)



# 小本川水系小本川（岩泉町門～褒綿地先 1/5）



◆被災状況については調査中  
 ◆被災原因：溢水（川岸から溢れた洪水）、橋梁に流木がひっかり周囲を洪水が廻り付近の家屋へ影響

① 門地区の被災状況



北海道地図 平19総使、第186-22368号

② 門地区の被災状況



③ 門地区の被災状況



④ 門地区の被災状況



⑤ 門地区の被災状況



⑥ 褒綿地区の被災状況

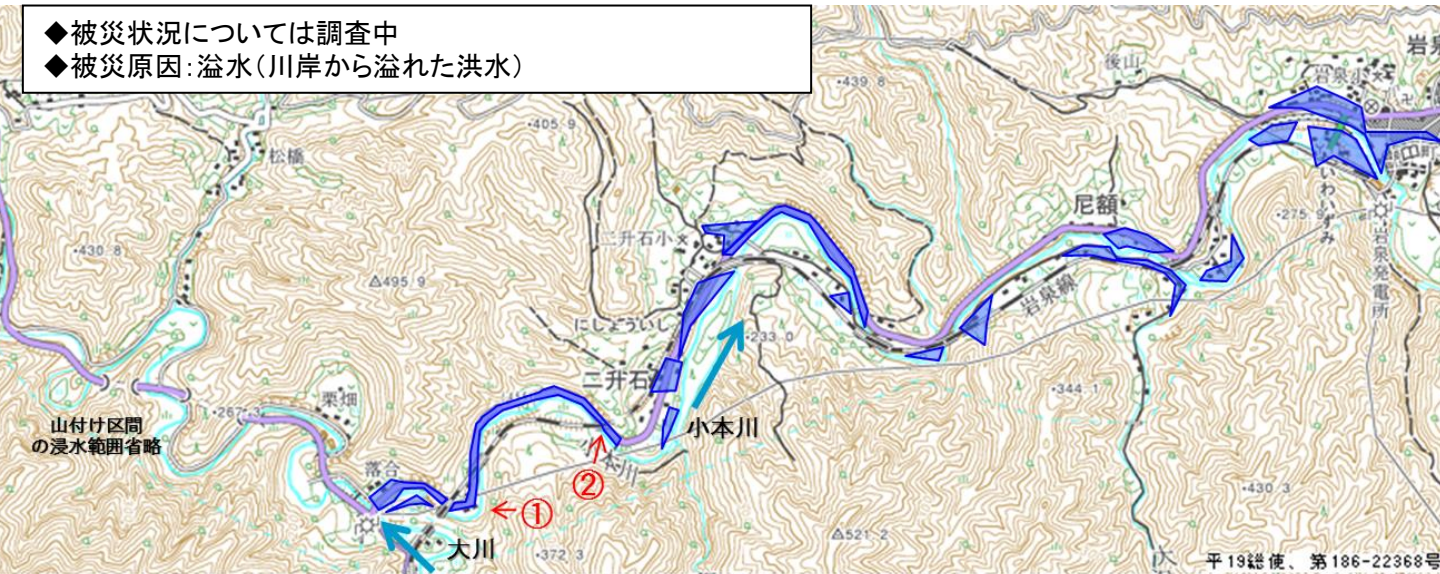


⑦ 褒綿地区の被災状況



# 小本川水系小本川（岩泉町二升石～岩泉地先 2/5）

- ◆被災状況については調査中
- ◆被災原因: 溢水(川岸から溢れた洪水)



①  
大川合流点付近状況



②  
国道455号道路兼用護岸被災状況

# 小本川水系小本川（岩泉町岩泉～小本地先 3/5）

- ◆被災状況については調査中
- ◆被災原因: 溢水(川岸から溢れた洪水)、橋梁に流木がひっかかり周囲を洪水が廻り付近の家屋へ影響



① (清水川) 浸水被害状況



② (清水川) 浸水被害状況



③ (清水川) 家屋浸水被害状況



④ (清水川) 家屋浸水被害状況



⑤ 橋梁部(永代橋) 被害状況



⑥ 浸水被害状況



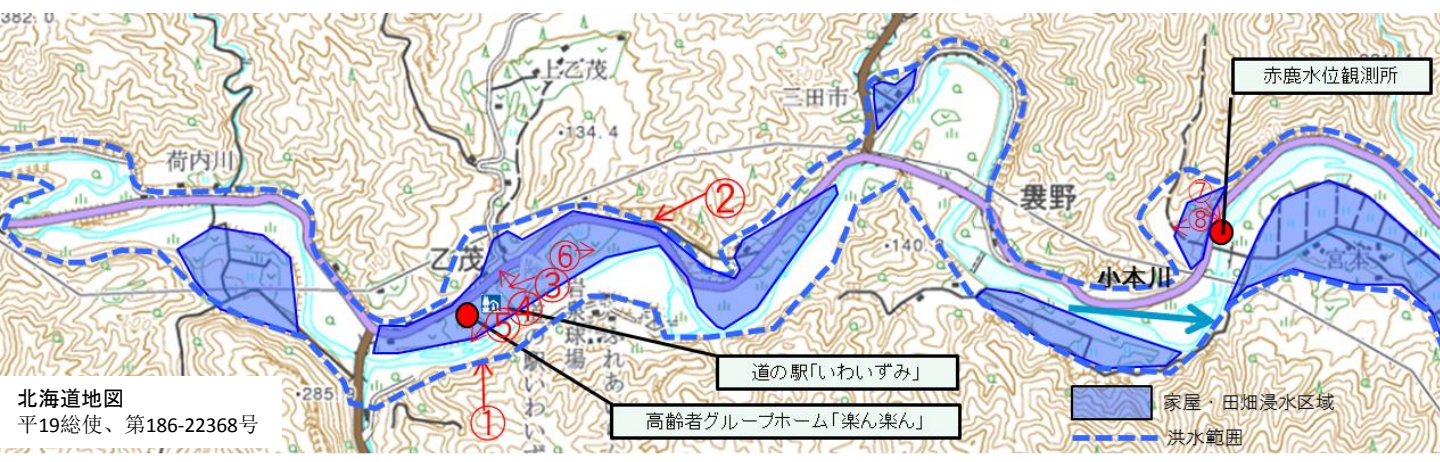
⑦ 浸水被害状況



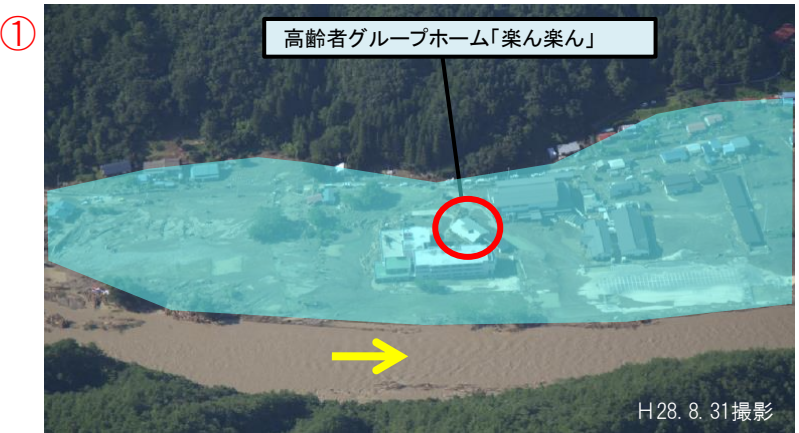
⑧ 橋梁部(大橋) 被害状況



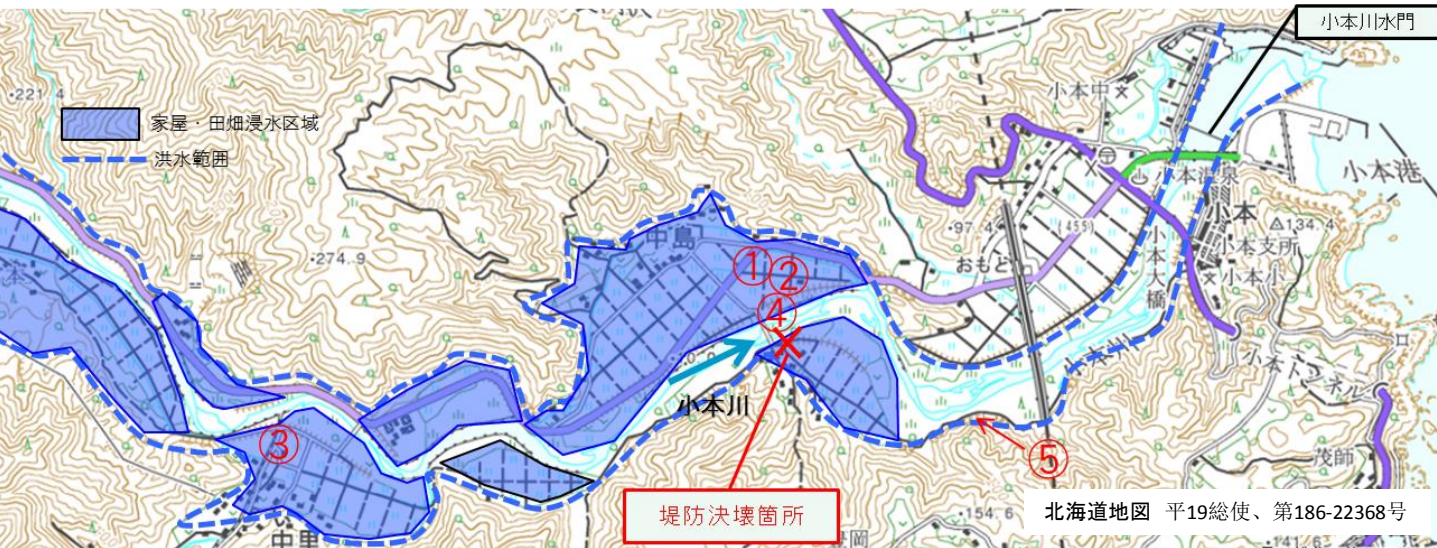
# 小本川水系小本川（岩泉町岩泉～小本地先 4/5）



◆被災状況については調査中  
◆被災原因: 溢水(川岸から溢れた洪水)



# 小本川水系小本川（岩泉町岩泉～小本地先 5/5）



① 浸水被害状況



② 浸水被害状況

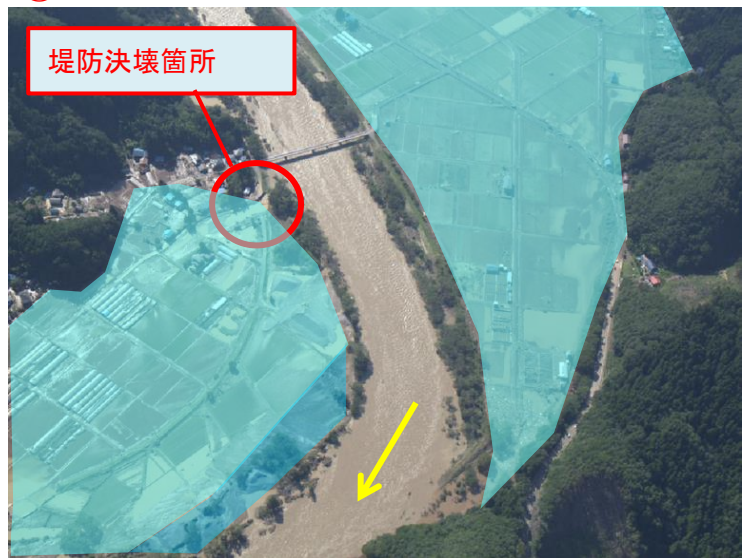


③ 家屋浸水被害状況

④ 堤防越水状況



⑤ 築堤決壊状況

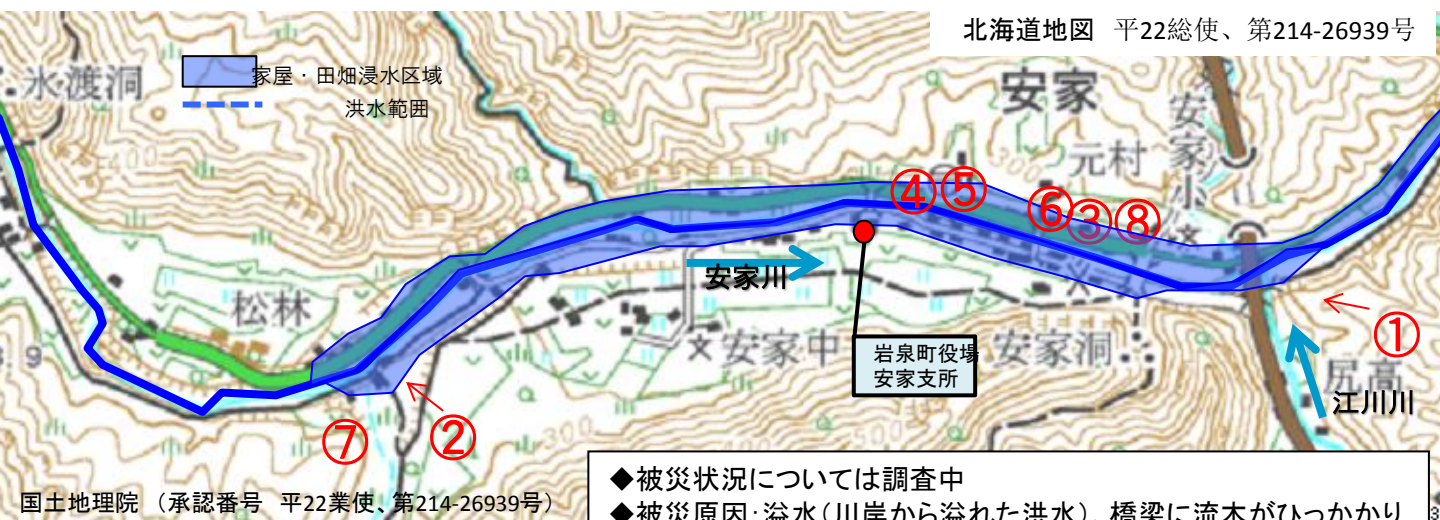


H28. 8. 31航空撮影

- ◆被災状況については調査中
- ◆被災原因: 溢水(川岸から溢れた洪水)、越水(堤防を越えた洪水)、決壊(川岸の壊れ)

# 安家川水系安家川（岩泉町安家元村～松林地先）

北海道地図 平22総使、第214-26939号



国土地理院（承認番号 平22業使、第214-26939号）

◆被災状況については調査中  
 ◆被災原因：溢水（川岸から溢れた洪水）、橋梁に流木がひっかかり周囲を洪水が廻り付近の家屋へ影響

① 元村地区被災状況



② 松林地帯被災状況



③ 中の橋（人道橋）埋塞状況



④ 護岸被災状況（元村地区）



⑤ 被災家屋状況



⑥ 被災家屋状況



⑦ 安家橋埋塞状況



⑧ 被災家屋状況



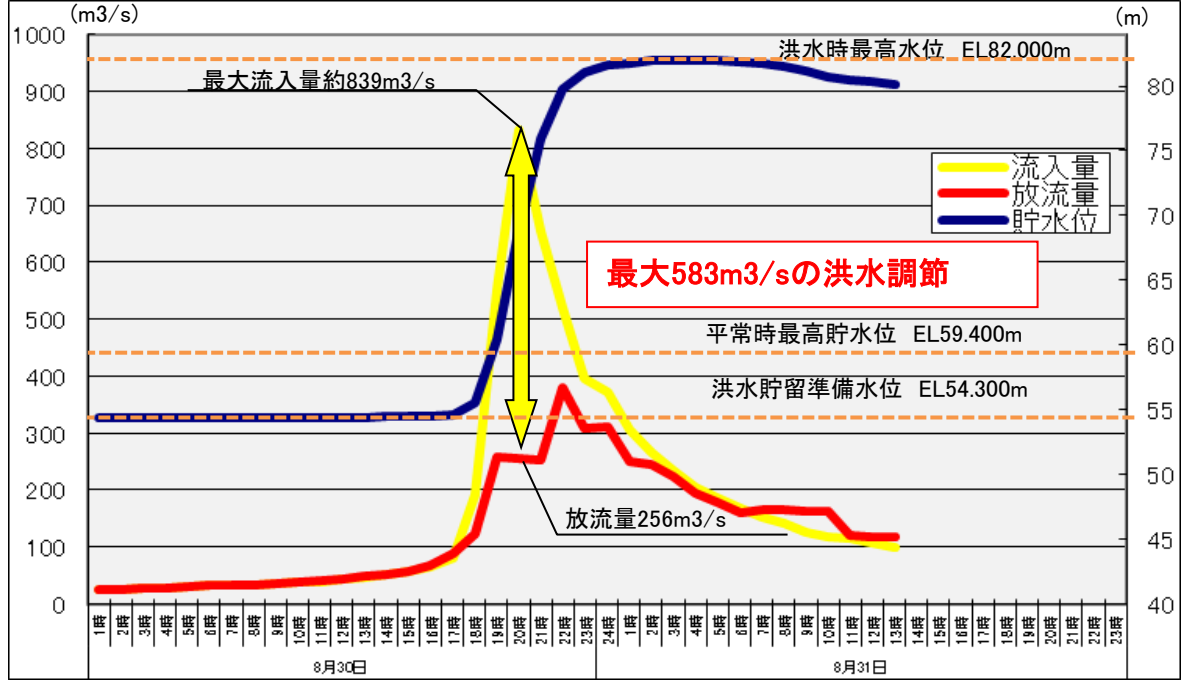
# 滝ダムの洪水調節効果が 災害からの被害低減の役割を果たしました

台風接近時、久慈川水系長内川の滝ダム(久慈市)上流域において、時間最大雨量39.0mm、降り始めからの総雨量は210.0mmとなりました。

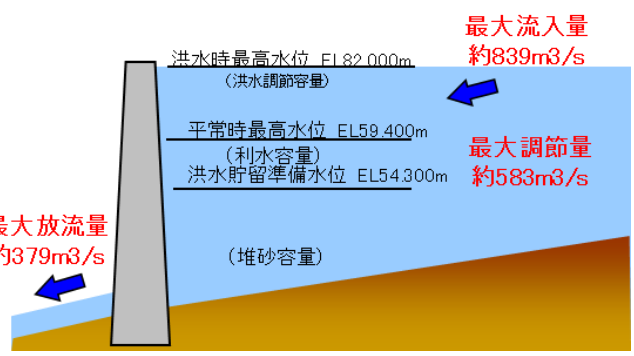
滝ダムでは、上流から流れ込む洪水を貯留し、下流に流れる洪水の調節を図りました。  
8月30日20時頃には、最大流量毎秒約839m<sup>3</sup>/sのうち、約583m<sup>3</sup>/sを貯留し、8月31日2時50分頃には、**洪水時最高貯水位(満杯)であるEL82.0mまで水を貯める操作**を行いました。  
貯留した最大の水量は約6百万m<sup>3</sup>で、これは東京ドーム約4.8杯分に相当します。

これにより、市内中心部(長内橋水位観測所)では、**2.2mの水位の低減効果**があったものと推定され、あわせて、水防団による水防活動(土のう積み)との連携により、**長内川本線堤防からの越水を防ぎ、下流市街地の洪水被害を低減しました。**

滝ダムの洪水調節の状況(8/30~8/31)



洪水調節状況(断面図)



滝ダム 貯水状況 (8/31 6:10)





# 国土交通大臣へ早期復旧支援を求める要望を実施

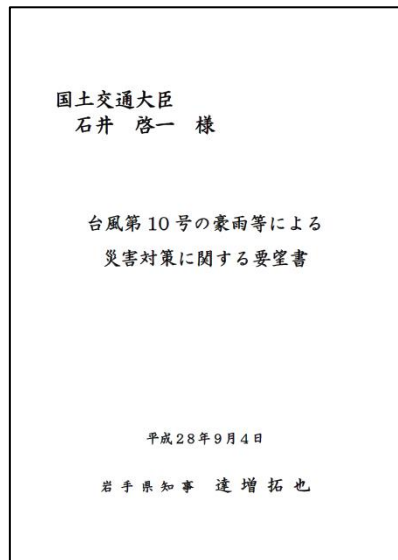
災害発生後、国の各府省から、大臣等が相次いで来県し、被災現場の視察や被災首長との意見交換等を行いました。

9月4日(日)には、国土交通省から石井啓一国土交通大臣が来県し、達増知事からは、

「**台風第10号の豪雨等による災害対策に関する要望書**」を手渡し、被災地の早期復旧への支援を要望しました。

石井大臣からは、リエゾンや TEC-FORCE の派遣による現地支援や、孤立集落解消に向けた道路啓開支援を進めていくこと、被災者の住宅復旧に向けた支援、激甚災害の指定に向けた技術的支援や災害査定の特例化等を進めていく旨発言がありました。

その後、石井大臣は岩泉町と久慈市へ赴き、現場視察や現地の TEC-FORCE へ激励を行ったほか、岩泉町長、久慈市長とそれぞれ面会し意見交換を行いました。



## 【要望内容】

- ・ 孤立集落解消へ向けた緊急支援
- ・ 早期復旧への支援
- ・ 被災住宅等の復旧に向けた対策の実施
- ・ 激甚災害の指定

## 【石井大臣の視察状況（一部）】



国道 455 号の被災状況



岩泉町長との意見交換



冠水した久慈駅前